

\*1201100595534\*

雜 53  
52

(E)

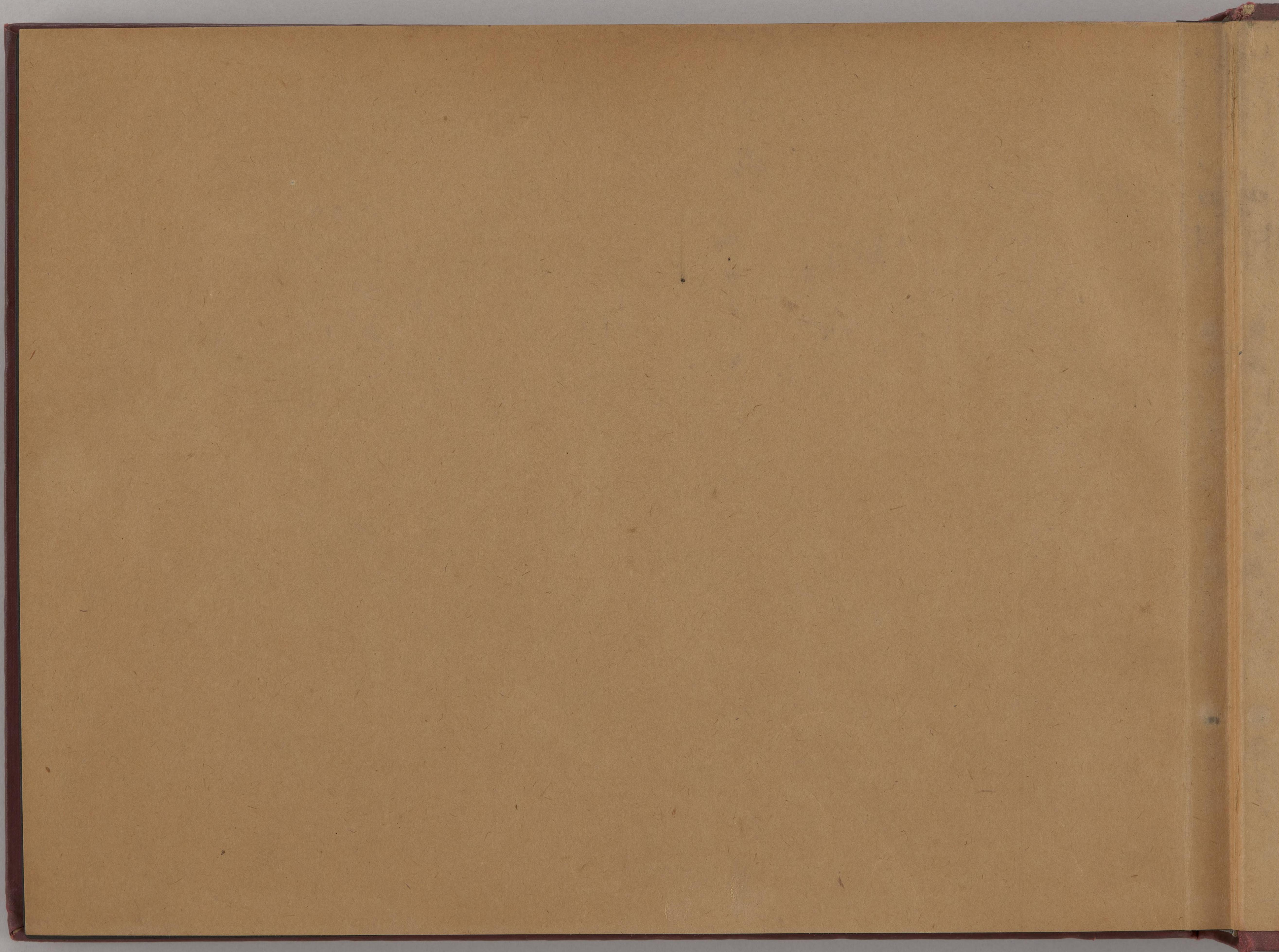
禁電子式複写



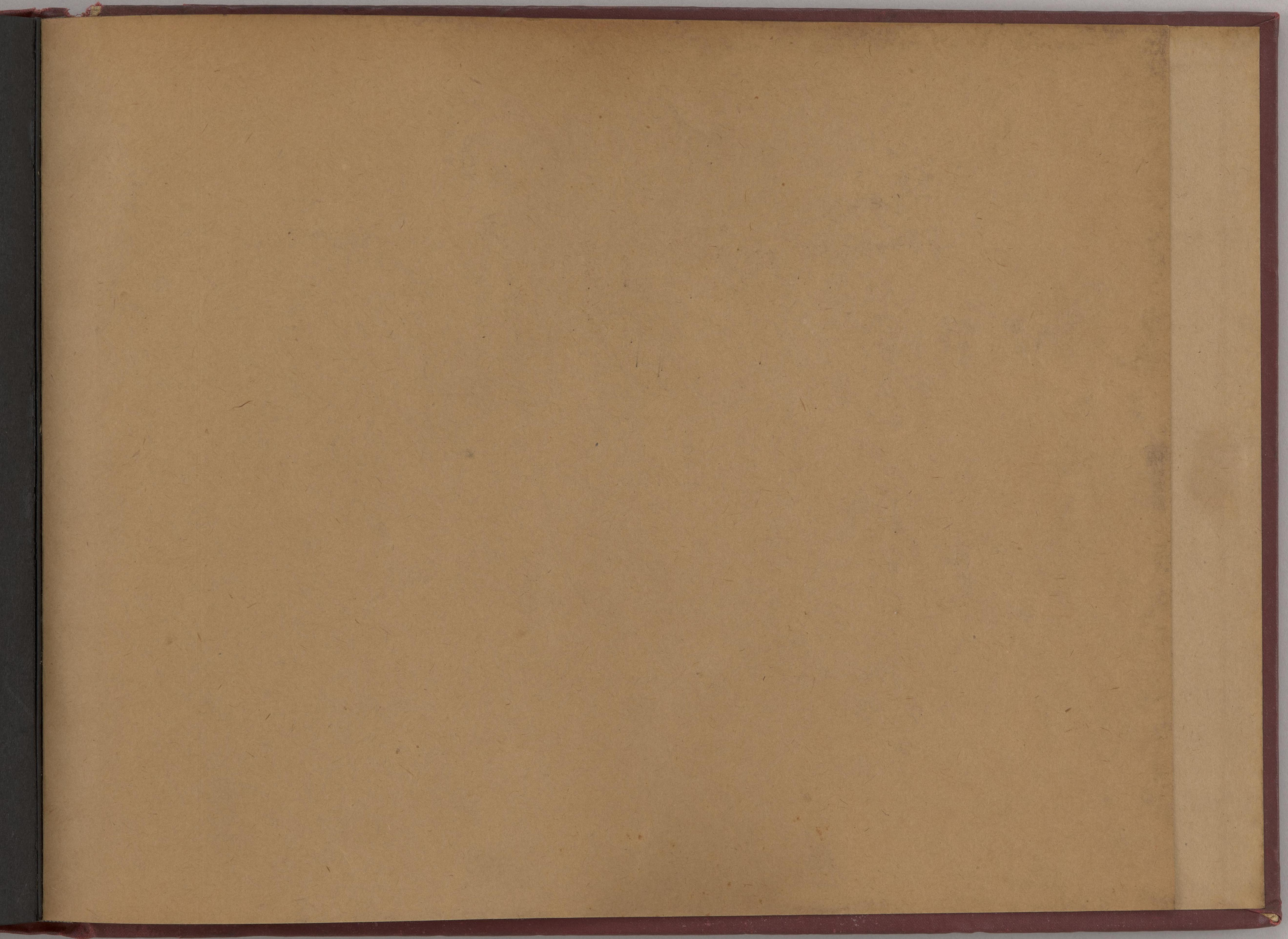


















同盟 寫眞 ニユース 第一—二號

◎昭和第十一年、新年初頭風景

(東京) 昭和十一年一月一日

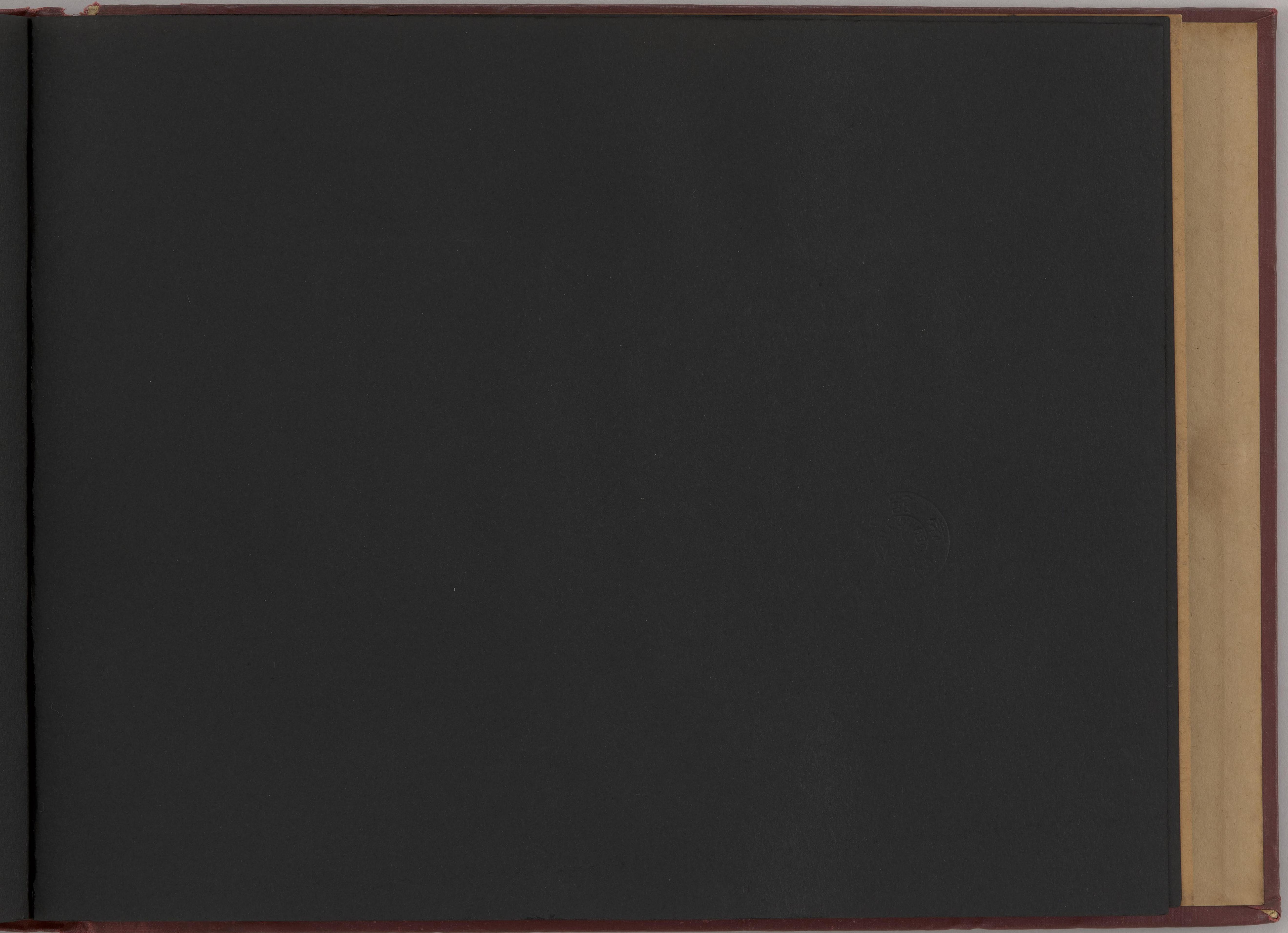
(一) 明治神宮へ初詣の群集

(二) 淺草活動街の人の波















同盟通信 スケッチ寫眞 第三號

◎ (初) (荷)

(東京) 十一年一月二日

一 秋葉原驛にて一







同盟通信 寫眞ニユース 第二號

◎シヤム内相

明治神宮參拜

(東京)十一年一月二日

我國の政治、經濟等を廣く視察見學する目的  
で來朝したシヤム國で一流人物と目されて居  
る内相ルアン・ブラデイ・マヌタン氏は今二  
日午前十一時明治神宮を參拜した

寫眞は

一、明治神宮にて左より宮崎書記官、シヤム  
内相、シヤム公使







同盟 寫眞ニュース 第二號

◎ 暖いお正月で  
賑ふ上野の動物園

(東京) 十一年一月三日







◎ 聖上御親祭の下に  
I 三殿で元始祭の御儀 I

慶雲瑞祥の氣新春の大内山に深々と羨ふ三日  
午前十時、長くも天皇陛下御親祭の下に宮中  
賢所、皇靈殿、神殿にいと厳かに元始祭の重  
き御祭典を行はせられた、この日神々しく装  
飾された三殿には秩父宮同妃、高松宮同妃、  
閑院元帥宮各殿下を始め皇族方御参列、岡田  
首相以下各國務大臣、齋藤内府、一木、平沼  
樞府正副議長以下各樞密顧問官、前官禮遇親  
任官その他勅任待遇以上の文武官何れも大禮  
服又は正装に威儀を正して参列した  
寫眞は

一、その日の岡田首相（於官邸）と齋藤内府  
（於自邸）







同盟 寫眞ニュース 第四號

◎東株取引所初立會

(東京) 十一年一月四日

東株初立會は四日午前九時杉野新理事長の挨拶あり終つて擊析一番初商ひに入つたが昨年來好景氣來の氣構へと金融の緩慢も各市場の好氣配に新東は百六十八圓九十錢と六十錢高に寄付き諸株もこれに連れて順調子を述べた

寫眞は

一、東株初立會







同盟 寫眞ニエース 第三號

◎成田山御本尊御影行列

一東京一十一年一月四日

成田山開基一千年祭記念大展覽會開催に當り高島屋會場内本堂に御本尊御影、天國寶劍安置開扉のため午前七時四十分成田山發兩國驛着。それより順路日本橋會場まで木遣り音頭の行列勇しく繰り込んだ

寫眞は

一永代橋にて







◎文武官八百餘名を召され

畏し君臣和樂の新年宴會

(東京) 十一年一月五日

天皇陛下には輝やく新春を壽ぐ御恒例の諸儀  
 を滞りなく進めさせられ五日正午には宮中  
 明殿に新年宴會を催させられ岡田首相以下各  
 國務大臣、齋藤内府、一木、平沼樞府正副議  
 長以下各樞密顧問官、前官禮遇陸海軍大將、  
 親任官其他勅任待遇以上の文武官及び米國大  
 使グルー氏始め各國大公使等何れも大禮服又  
 は正装に綺羅を飾つて、陛下には陸軍大元帥  
 の御正装に大勳位菊花章頸飾御佩用、龍顏殊  
 の外御麗はしく松平式部長官、湯淺宮相前行  
 鈴木侍從長、本庄武官長以下の供奉員を從へ  
 させられ秩父宮、高松宮殿下始め奉り各皇族  
 方扈從して出御、中央菊花御紋章輝やく玉座  
 に着御あらせられ陛下には玉音いと明かに優  
 渥なる勅語を賜へば岡田首相は群臣を代表し  
 米國大使グルー氏は外國使臣を代表して謹ん  
 で奉答した、かくて盛大なる御饗宴に移り君  
 臣和樂の中に新春聖壽の無窮を壽いで御宴を  
 終へさせられた

寫眞は

一、参内の岡田首相

二、宮中退下の文武百官

三、参内の自動車















◎木遣音楽に聞く

大江戸の名残り

一宮城前で消防出初式

(東京)十一年一月六日

大江戸の名残りを止める消防出初式は恆例通り六日午前十時から宮城外苑で舉行された、此の日大日本消防協會總裁梨本宮殿下には御風氣のため御台臨あらせられず式は午前十時國旗掲揚に始まり参加者一同宮城奉拜後總裁宮殿下の令旨を捧讀、小栗總監の檢閲に次いで優良消防手、永年勤続消防手の表彰式があつて分列式に移り午前十一時式を閉ぢた、今年も昨年同様式場等の關係で一般の參觀を許さず又一昨年を名残りとして出初式の華たる模擬火災及び勇み肌の鳶の衆自慢の梯子乗りは全くなく此の點いたつて淋しいものであるつたが市部消防組の木遣行列に僅かに大江戸の聲をきき近代消防の精粹梯子自動車の嚮進に科學の持つ力強さを明示した  
寫眞は消防組の木遣行列(宮城前にて)







◎年寄の名を永久に  
― 同院に力塚建つ

(東京) 十一年一月六日

力士、行司で斯道興隆に貢献した年寄の名跡は從來その後繼者によつて繼承されてゐたが大日本相撲協會では今回その名を永久に傳へるため兩國同院内に歴代相撲年寄の名を刻した石塚を建設してその靈を祀ることとなり昨夏來起工中であつたがこの程漸く完成、春場所を數日後に控へた六日午前十一時から廣畑協會理事長初め玉錦、武藏山等多數相撲関係者及愛好者參列の下にその除幕式が行はれた。この石塚は力塚と言ひ陸軍大將尾野實信氏の撰、陸軍主計總監千葉郁治氏の書になつて碑文が刻まれ高さ十五尺五寸、幅七尺五寸、厚さ二尺の堂々たるものである

寫眞は除幕式







◎皇太子様葉山へ

「順宮さまとお揃ひで」

(東京) 十一年一月七日

皇太子殿下には御姉宮順宮様とお揃ひで嚴密の候を當分葉山御用邸に御過しおらせられることになり七日廣幡皇后宮大夫、黒田專務官田中侍醫、伊地<sup>知</sup>神養育掛等が御供申上げ兩殿下御同列で午前十時十分宮城御出門。同二十五分東京驛御發電車にて同十一時二十七分逗子驛御著車。町民等多數奉拜中を自動車にて葉山御用邸に入らせられた

寫眞は

「東京驛にて謹寫







◎初閣議

(東京) 十一年一月七日

本年の初閣議は七日午前十時四十分より首相官邸に於て開會。岡田首相以下各大臣出席先づ廣田外相より南京政府との交渉關係、北支情勢、軍縮會議の經過につき報告あり次で内田鐵相より歷年による鐵道收入決算狀況を説明

昨年同期に比すれば一割以上の收入増を示し景氣のバロメーターたる鐵道收入より見ても財界は安定への途を辿つてゐることが明瞭である

と報せ正午散會

寫眞は

一、初閣議







同盟 寫眞ニユース 第一 四號

◎大元帥陛下御親閱

勇躍する一萬二千の精銳

『代々木原頭の觀兵式』

(東京) 十一年一月八日

昭和十一年初頭を飾る盛儀、陸軍始大觀兵式は八日午前十時長くも天皇陛下の行幸を仰ぎ雪白き代々木原頭に繰り展げられた

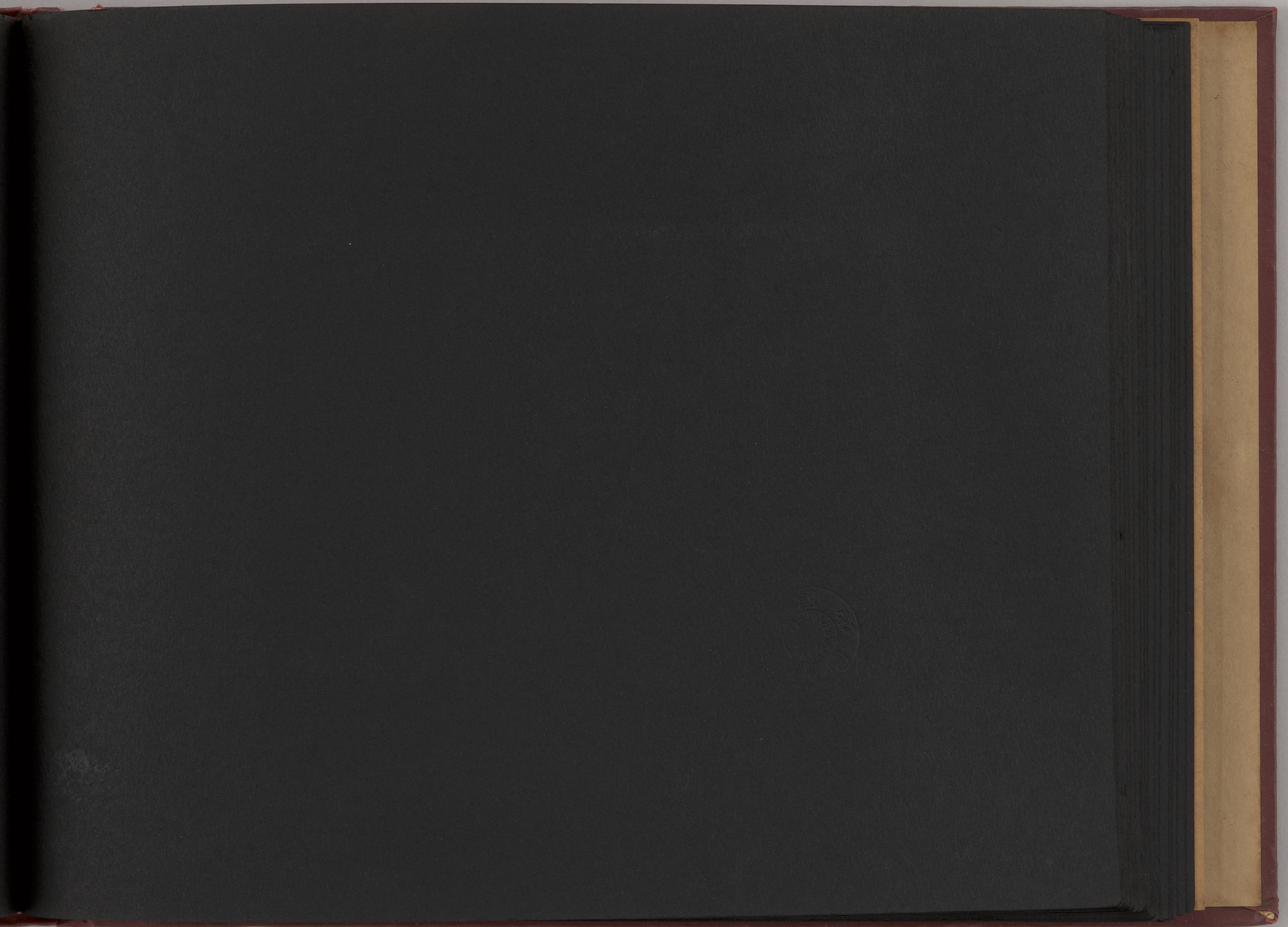
寫眞は

- (一) 及 (二) 御親閱の大元帥陛下
- (三) 歩兵の分列式
- (四) 陪觀の岡田首相以下各閣僚















◎三六年のシス・シヤム

「憲法發布記念祭に進出」

(東京) 十一年一月九日

どうです、この明降皓齒は去る十二月十四日の暹羅國憲法發布記念祭の呼物である恒例の美人投票で選出された一九三六年のミス・シヤムです、ワニー嬢といつて芳紀まさに十八歳、今度の投票はこの國の正統なる服裝であること、いふ國粹的條件の下に行はれた、裸足でパーティーといふ一條の布を乳の周圍に巻きつけ、その一端を肩越しに背中へ投げかけてゐる頗る妖艶なもの、之がシヤムの婦人の昔からの正装なのです

寫眞は

ワニー嬢







同盟 寫真ニュース 第四號

◎ トーキョー役者牛塚市長

「選舉肅正」の撮影↓

(東京) 十一年一月九日

「選舉肅正」の聲を益々大にするため牛塚市長は九日午前十一時日暮里の振進スタヂイオに赴き肅正の辯を一卷のトーキョーに收めた寫眞は

「市長のトーキョー撮影







同盟 寫眞ニユース 第一號

◎初日五十錢デーの猛景氣

(東京)十一年一月十日

大日本大相撲春場所は愈々十日兩國國技館に於て初日の蓋を開けた、武蔵山の新横綱に六年振りで兩横綱番付を見た大鐵傘下は凄いでの人氣を呼び又五十錢均一奉仕デーとあつて午前二時早くも開館、寒空にふるえてゐたフアンは雪崩れを打つて入場する盛況、午前五時前角力から場内は早くも湧き返つてゐる寫眞は

一 武蔵山の土俵入り







◎宮内省の消防出初式

(東京) 十一年一月十日

宮内省消防部の恒例出初式は湯淺宮相以下宮内官のほか警視廳本間警務部長、今井警務課長、伊能警衛課長、岡崎特別警備隊長、重田消防部長をはじめ御所、離宮を御警衛申し上げる警察署長、消防署長等も來賓として參列十日午前十時宮内省廳舎前廣場で行はれ火事装束を凜々しく禁苑防火の重き責務に任ずる柳田警視總指揮の下に大久保、藤原兩消防隊長以下消防警手、消防夫百餘名は自動車ボンヲ五臺に分乗集合、内藤警察部長の點檢、分列式に次いで「遠見」「係」「腕の葉」等各種の梯子乘に絶妙な離れ業を演じ最後に放水演習があつて同十一時三十分頃終了した

寫眞は

一、宮内省の出初式







同盟 寫眞ニユース 第二號

◎鍋島榮子刀自に勳三等

(東京) 十一年一月十一日

篤志看護婦會長を始め各方面の公職にある故  
直大侯未亡人鍋島榮子刀自は本年八十二歳の  
高齢に達し引退することとなつたが畏き邊り  
ではその永年の功勞を嘉せられ十一月左の  
如く敍勳の御沙汰があつた

勳四等

鍋 島 榮 子

敍勳三等授瑞寶章

寫眞は

一、光榮の榮子

子







同盟 寫眞ニユース 第三號

◎女流書家の新年試筆會

(東京) 十一年一月十一日

山野紅蘭女史門下の恒例新年試筆會は十一日  
午前十一時から日本橋俱樂部で開催。眼も絢  
なる文金高島田に振袖姿の令嬢達が數々の餘  
興の後に夫々書初めを試み歡を盡して散會し  
た

寫眞は

女流書家のお書初め







◎念佛のコーラスで鯉料理

(東京) 十一年一月十二日

十二日午前十時淺草區北清島町眞言大谷派高龍山阪東報恩寺で吉例の「鯉魚料理規式」が執行された、この儀式は七百年の天福元年以來今日まで連続と續いてゐるもので俗に廻歸きと云はれてゐる、處もあらうに本堂の眞中に大俎に二匹の生鯉をのせ、三百余名の善男善女が唱へる念佛のコーラスに庵丁のコンパクトを採りながら烏帽子直垂も古風な料理人が一尾つつ料理をして生身の二切は京都本山東本願寺法主に、のこりの身は細かに刻んで同じく二切つつ笹の葉にのせて信徒にくばるのである

寫眞は

一 鯉魚料理規式







同盟通信

寫眞ニュース

號外

◎打ちかけ着た西歐の歌姫

（東京）十一年一月十二日

「日本婦人クラブ」では昨年来朝した西歐の歌姫グズネツオヴァ夫人が來月歸國するので昨夕四谷區番衆町一二七の小笠原流教場へ招待高倉峰子女史の説明で徳川時代から現代までの結婚風俗の實演を見せ優雅な日本女性の精神を披露したが日本好きの夫人は始終キーンと坐つて大いに感心してゐたがたう／＼白分もしてみたくなり赤い打ちかけを着せてもらひ慣れぬ千つさで古式の茶の湯の眞似ごとをして大喜ひだつた

寫眞はその集ひへ左から二人目グズネツオヴァ夫人、藤原雲江夫人あき子さん







◎和子嬢の樂壇へ  
初のテストにお歴々驚嘆

(東京) 十一年一月十二日夜

(既報) 第二の諏訪根自子さんとして去る四日シヤトルから遙々故國を訪れた小さきヴァイオリニスト田賣和子(一四)さんの初のテストが飯倉町の聲楽家松山芳野里氏宅で行はれた、聴く人は近衛秀麿子、藤原義江其他の人々、和子さんの日本語を操る口こそたどたどしいが一度ヴァイオリンを手にする時は難曲も正確なタッチで鮮かに奏きこなし並み人々を驚嘆せしめた、和子さんは近衛子指導の下に良き師に付いてみづちり勉強し近く春の樂壇にデビューすることゝなつた

寫眞は

和子さん初のテスト







◎轉向學生を御視察

高松宮精神文化研究所御成り

（東京）十一年一月十三日

かねて轉向學生の將來に御留意あらせられる  
高松宮殿下には十三日午前九時半上大崎長者  
丸の文部省國民精神文化研究所へ成らせられ  
十時十分より約四十分に亘り教員研究科の山  
田孝雄氏の講義を御聽取後所長關屋龍吉氏の  
御案内で所内を御巡察各種資料を御覽遊ばさ  
れ種々御熱心に御下問あり十一時五十五分御  
歸還遊ばされた

寫眞は

一、御視察の高松宮（左邊は傳説研の關屋所長）







◎聖上鳳凰間に出御

新年御講書始の御儀

(東京)十一年一月十四日  
天皇陛下には政局多端の折柄今冬は葉山行幸も御取止めひたすら政務を<sup>變</sup>はせられる御精勵振り長き極みであるが十四日は午前十時より御獎學の意義深き新春御恒例の講書始の御儀を宮中鳳凰の間に於て嚴かに行はせられたこの日定刻に先だつて特に陪聽の有難き光榮に浴した岡田首相、後藤内相、松田文相、兒玉丞相、長興東大總長を始め其他宮内官等参列陛下には陸軍御通常禮装を召され久邇宮梨本宮兩殿下扈從、鈴木侍從長、本庄武官長等を隨へさせられ鳳凰間に出御、中央玉座に着御遊ばされるや各進講者は恭しく陛下の御前にお進、先づ幣原博士國書を次いで羽田博士漢書を、總積博士洋書をそれぞれ約三十分間に亘つて御進講申し上げた

寫眞は

一、向つて左から(前列)總積、羽田、幣原

(後列)宮部、諸橋、和田の諸博士

(於宮内省玄關)







◎愛婦新年祝賀式

(東京) 十一年一月十四日

愛國婦人會新年祝賀式は十四日午后一時より芝公園内水交社に於いて開催、總裁東伏見大姫殿下始め奉り閑院若宮妃、李鍵公妃殿下、本野會長以下會員數百名參集、新年祝賀詞を交換、歡を盡して散會した

寫眞は

一、向つて左から本野會長、閑院若宮妃、東伏見大姫妃、李鍵公妃各殿下







同盟 寫眞ニユース 第一號

◎ 聖上大宮御所行幸

(東京) 十一年一月十五日

天皇陛下には十五日午前十一時半鈴木侍從長御陪乗略式自動車鹵簿で湯淺宮相、本庄武官長以下供奉宮城御出門、大宮御所に新年初行幸あらせられ皇太后陛下に御對面、新年の御挨拶の後正午兩陛下御揃ひにて午餐を召され午後も引續き御物語りの上午後四時御所御出門、宮城に還幸あらせられた

寫眞は

一、大宮御所にて謹寫







◎鈴木總裁も出席し  
政友選舉委員初顔合せ

(東京)十一年一月十五日

政友會の選舉委員初顔合せは十五日午前十時半より九段の鈴木總裁邸に於て開催

鈴木總裁を始め久原、岡崎、山本(悌)鳩山、前田、川村、島田、中島、濱田、松野の各委員出席(山本采太郎氏病氣缺席)

先づ病氣を押して出席の鈴木總裁より一場の挨拶があつて後解散必至の議會對策を基調に解散の場合に於ける選舉對策につき協議に入り各委員の間に意見の開陳あり種々協議を重ねた

寫眞は  
下(向つて左より) (前列)久原、岡崎、鈴木、山本、前田(後列)川村、中島、鳩山、島田、濱田、松野の諸氏







◎首相軍縮會議決裂奏上

(東京) 十一年一月十六日

岡田首相は十六日午後一時半宮中に参内、天皇陛下に拜謁仰付けられロンドンに於ける軍縮會議は帝國の不脅威、不侵略の原則を確立する軍縮案が遂に列國の容るゝ事とならないため十五日の第一委員會後脱退通告をなした旨内奏、種々御下問に奉答、二時過ぎ退下したが同日午前十一時半外務省及び海軍省で聲明した

寫眞は

一 参内の岡田首相

一 その日の廣田外相

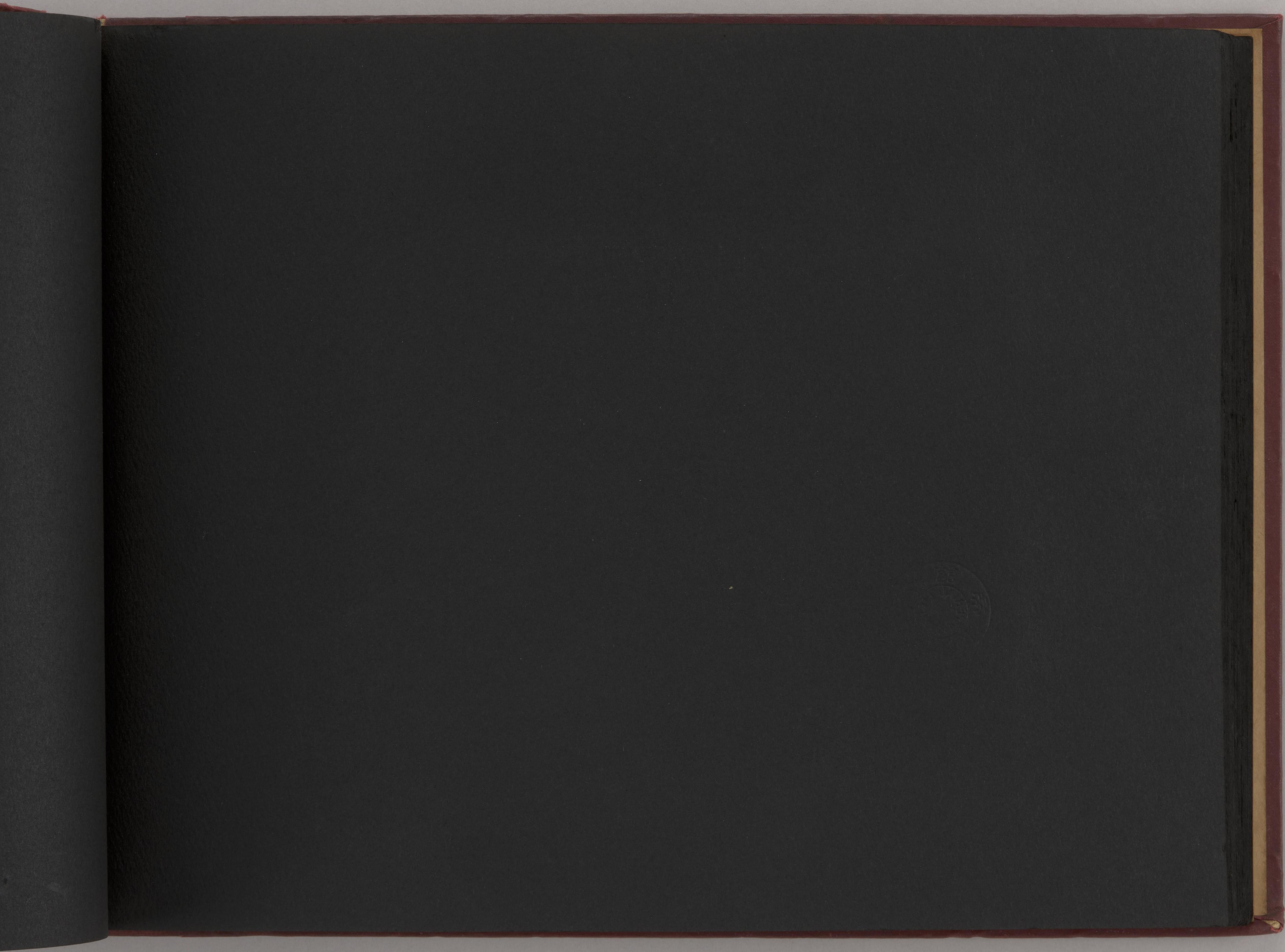
一 その日の大角海相

一 外務省情報部長の發表















◎明朗の家Ⅱ鐵相官邸落成

(東京)十一月一月十七日

麴町平河町の鐵相官邸が竣成した、首相官邸に次で新裝成つたもので明るく清くをモットに鐵道省建築課の設計にかかる去年九月下旬工事に着手、工費十二萬九千圓、近代洋風二階建、建坪二百五十坪、各室共電氣裝置完備し官邸中の最新式なものである、明十八日正午から内輪の落成祝を行ふことになつてゐる

寫眞は

一、落成した鐵相官邸







◎救急自動車のお祓ひ

(東京) 十一年一月十七日

警視廳消防部御自慢の救急自動車の修祓式は十七日午前九時より警視廳消防部車庫裏庭で飯田橋大神宮神官により舉行され、終つて五階第一會議室で警保局長、府知事、市長(何れも代理)香椎東京警備司令官等來賓約五百名列席の上救急事務開始式を行ひ小栗警視總監より救急自動車寄附者原田積善會に感謝狀を贈呈した、救急車は計六台、三五年型ドツチブラザー低廉式で白色に塗られ赤十字のシンボルを現はす一本の赤線が車體に圍らせられてある、之に活躍する消防部の救急隊員は現在三十六名、何れも看護兵勤務の經驗者で更に二ヶ月の實習を経たものである、一車三名乗務し電話一つで直ちにサイレンを鳴して現場に急行する  
寫眞は

一、救急自動車修祓式







同盟 寫眞ニユース 第一一二號

◎横須賀の海軍始觀兵式

(横須賀)十一年一月十八日

横須賀鎮守府の海軍始め觀兵式は十八日午前  
十時晴れ渡る海軍日和に惠まれ海兵團練兵場  
で同團長後藤大佐指揮官として行は滅各艦團  
部隊陸戰隊の精銳約七千名と霞ヶ浦、館山、  
横須賀各海軍航空隊の空軍の精銳百餘機他戰  
車隊、機關銃隊、軍鳩隊等參列し横須賀鎮守  
府司令長官米内中將は幕僚と共に先づ參加部  
隊の巡閱を爲し後軍樂隊の奏する海軍行進曲  
と共に陸戰隊の分列式が行はれ終つて空軍の  
精銳が艇銃三哩に亘り式場前方上空で壯烈な  
空中分列式を行つて午前十一時廿分閉式した  
寫眞は

一 分列式と

一 閱兵の米内長官

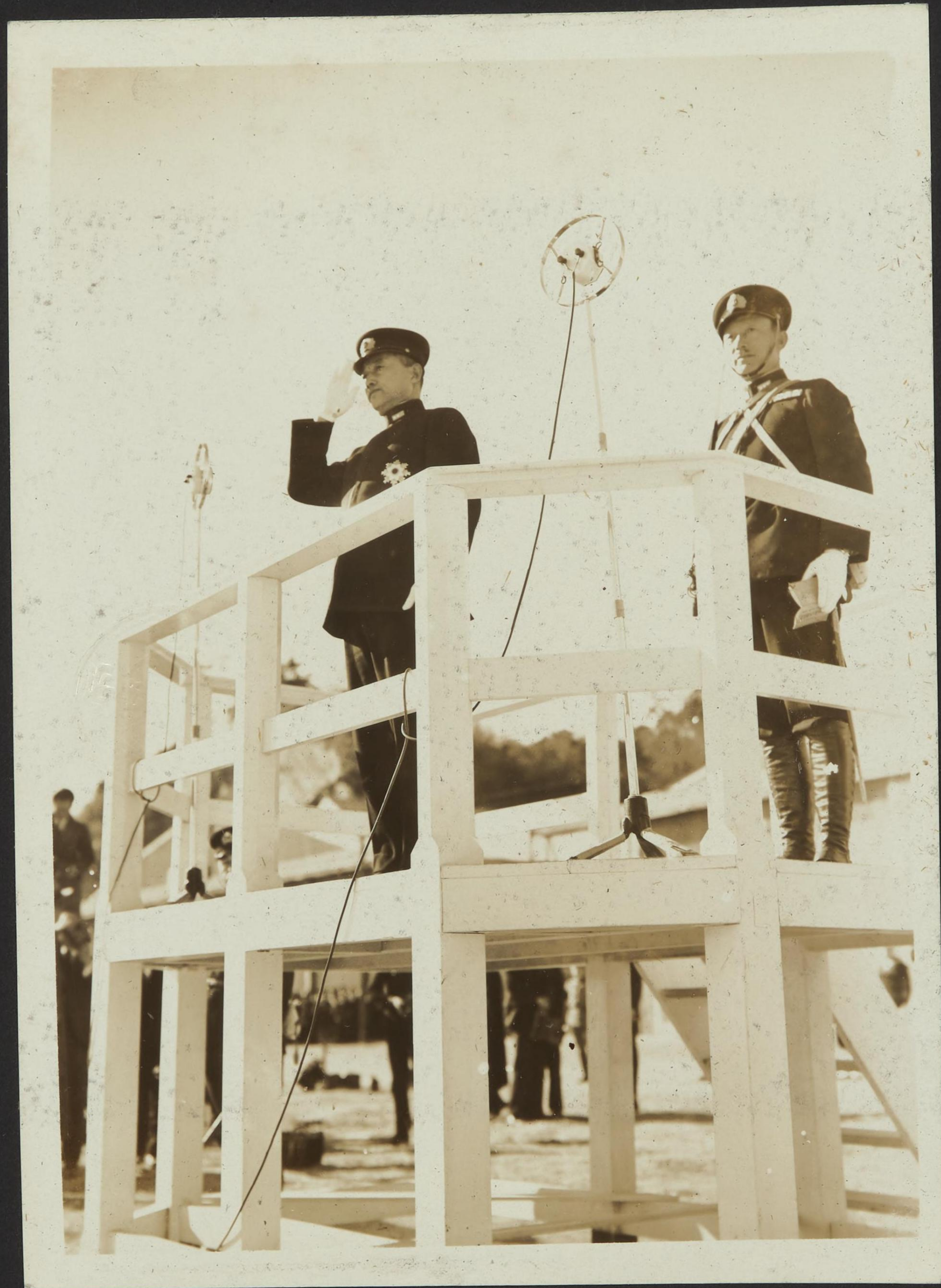














同盟通信 寫眞ニュース 第一號

◎民政黨選舉委員初顔合せ

(東京) 十一年一月十九日

民政黨では十八日の幹部會で決定した選舉委員富田幸次郎、太田政弘、大塚唯男、川崎卓吉、頼母木桂吉、俵孫一、永井柳太郎、小泉又次郎、小山松壽、櫻内幸雄十氏の初顔合せを十九日午前十一時から本部に於て行ひ愈々選舉戦に臨む具體的綜合協議を行つた

寫眞は初委員會(本部)







同盟通信 海外寫眞通信（號外） 一月十九日

◎英帝陛下御不例

ロンドン發同盟 英國皇帝デヨージ五世陛下には過般來御不例にわたらせられサンドリಂಗム宮殿にて御手厚き御加療中であらせられるが何分御高齡の事としてその御容態は頗る憂慮さる可きものと拜せられてゐる

寫眞は一九二九年頃御不例當時御少康を得させられ皇后陛下の御付添ひの下に御乳母車に召されクレイグウエル・ハウスの庭園を散歩させられる皇帝陛下







◎三派一齊に勢揃ひ

一政戰舞臺展開さる

(東京) 十一年一月二十日

第六十八議會は廿一日再開、貴族院は午前十時より本會議を開き衆議院は午後一時本會議を開き岡田首相、廣田外相の演説に次いで高橋藏相の財政方針演説あり政友會代表の質疑に入る順序であるため政友、民政、國同の三派は廿日午後二時より黨大會を開き夫々總裁より議會に臨む方針を指示し宣言を發表して勢揃ひを終つたが政府は質疑に入るに先立ち斷乎解散の決意をなすに至つたので廿日の各派勢揃ひは既に議會準備といふよりも解散に備へるための大會の如き觀を呈して居た  
寫眞は

一政友島田總務の總裁演説代讀

一民政黨國歌合唱

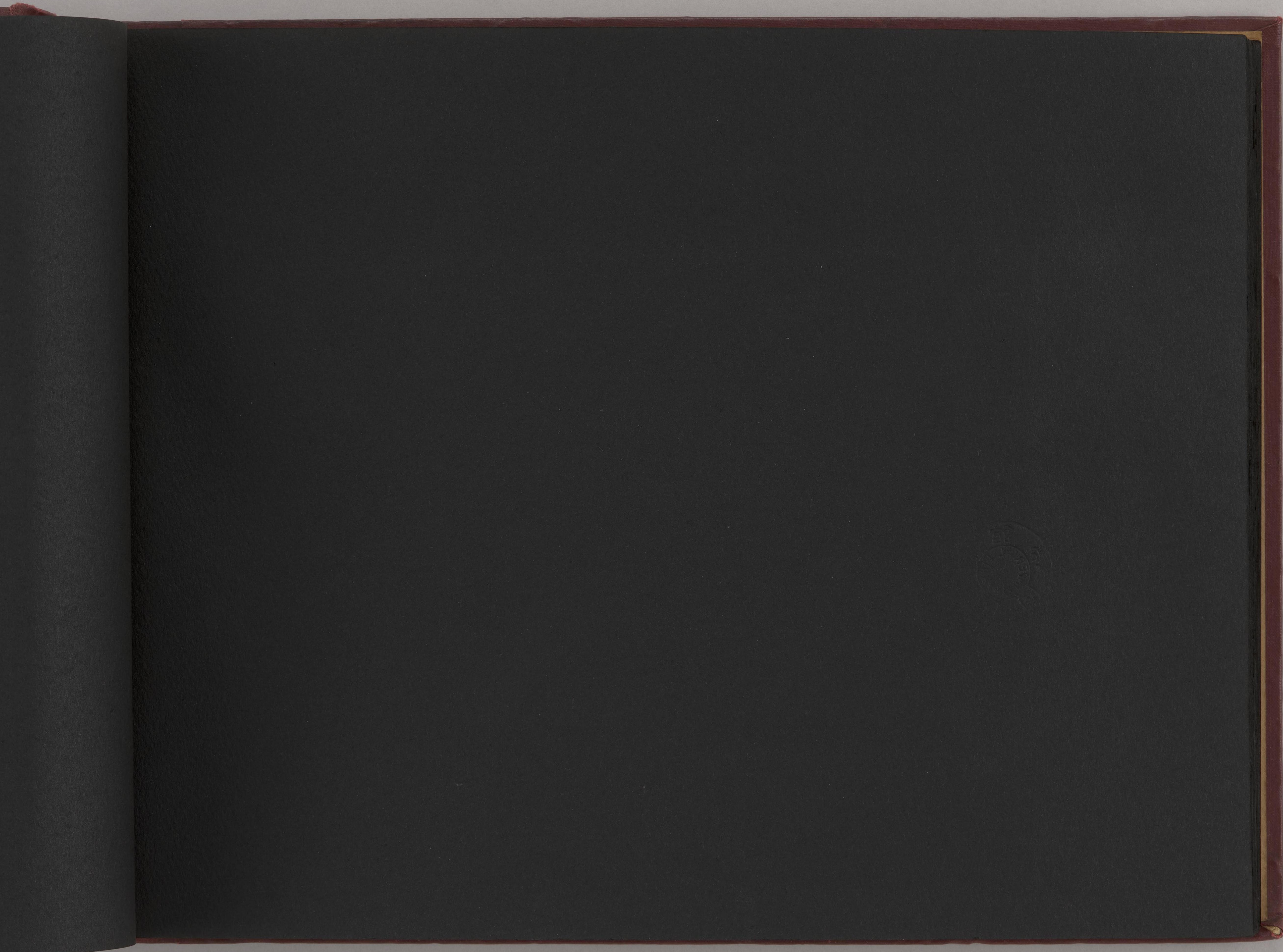
一國同安達總裁演説



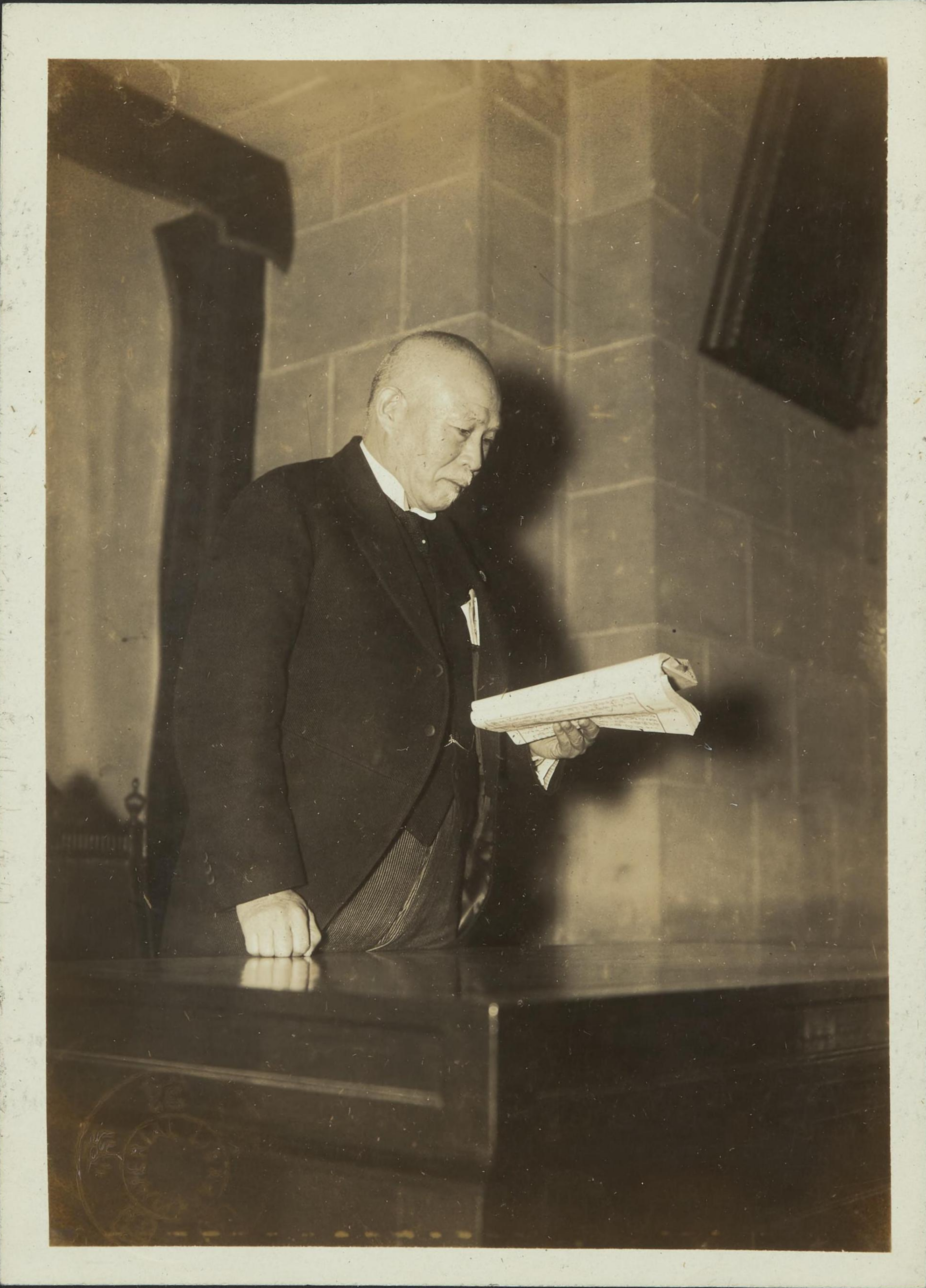


大會順序  
君代合唱  
勅語捧讀  
幹事長挨拶  
會長推薦  
黨務報告  
議事  
宣言決議  
黨則改正  
裁演說  
詞祝電朗讀  
二下萬歲  
總裁招待會











◎第六十八議會解散

(東京) 十一年一月二十一日

風雲ただならぬ第六十八議會は二十一日再開  
貴族院本會議は定刻開會、軍縮代表への感謝  
文可決の後、岡田首相の施政方針、廣田外相  
の外交方針演説終つて加藤政之助氏の質問に  
入り正午休憩、問題の衆議院は午後開會軍縮  
代表への感謝決議終つて岡田首相、廣田外相  
の貴族院に於けると同様の演説あり次いで高  
橋藏相の財政演説後、政友會提出の不信任案  
上程せられんとする刹那、詔勅降り満場起立  
裡に茲に第六十八議會は解散された

寫眞は

- 一、岡田首相、廣田外相、高橋藏相の演説
- 一、緊張せる大臣席
- 一、押寄せ傍聽人
- 一、傍聽席の高松宮殿下
- 一、解散の刹那

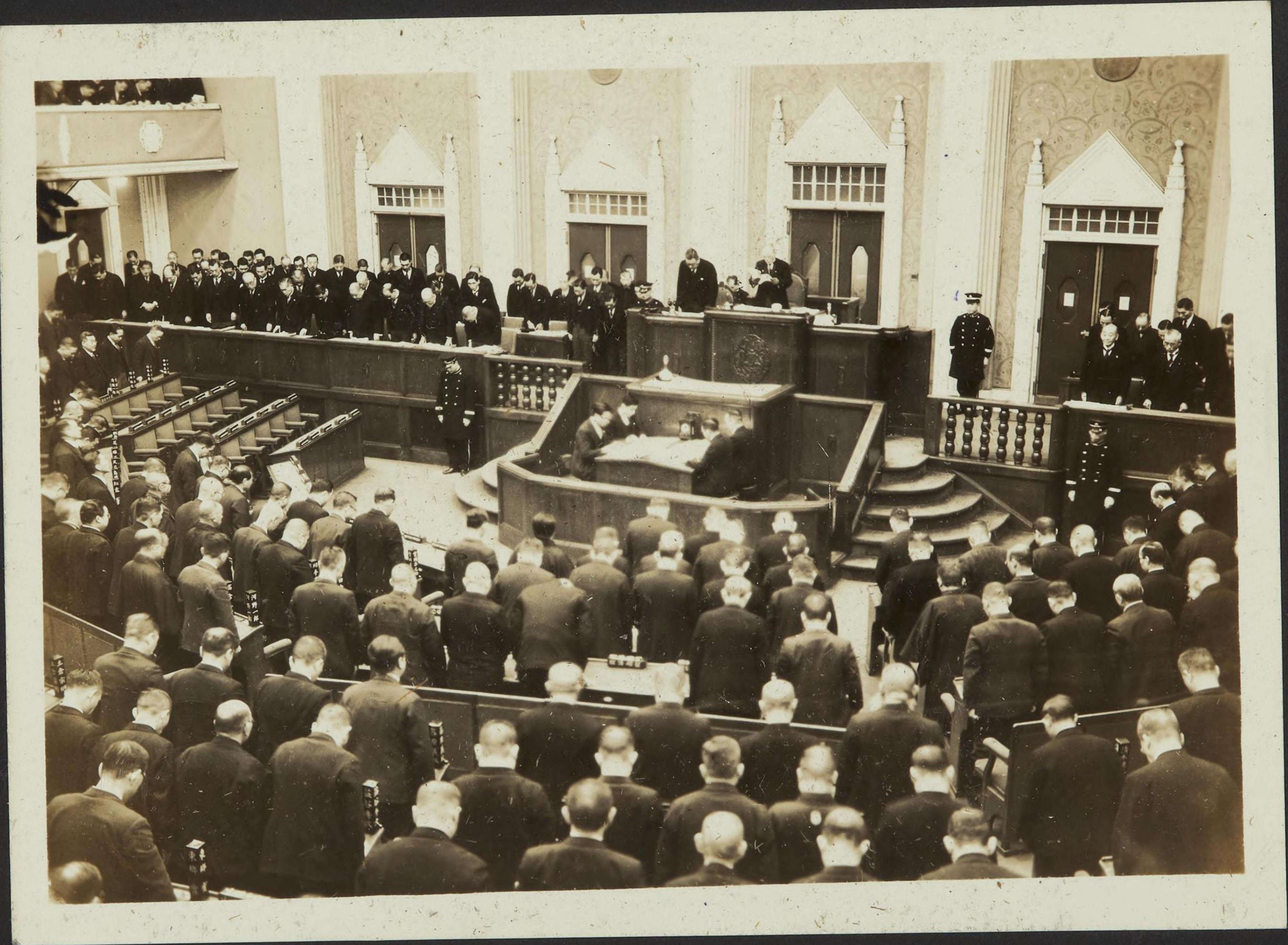














同盟 寫眞ニユース 第一號

◎馬をラツバに昭和の曲垣

卅五名が一氣に愛宕山の石段を

(東京)十一年一月廿二日

曲垣平九郎氏以來とかく物好きな連中が變つたことをやりたがる例の愛宕山の石段をこれはまたラツバ隊の呼吸だめし三十五人が隊伍整然ラツバ吹き吹き上りました、全國の聯隊からラツバ長が戸山學校へ集つて二ヶ月間の演習をしてゐたが、けふはその満願の日、記念のためとあつて山口少尉引卒で午后九時戸山學校からラツバ行進)を起し先輩江木アナウサーのある放送局見學かたがたこの風變りな吹き上りを決行したもの、流石は猛者連チテチテタタターと足並も調子も亂さず一氣に上りきつてしまひました

寫眞は

一、愛宕山にて







◎又淺間山かとビツクリ

けさ煙幕下の丸の内

(東京)十一年一月廿二日)

「なんだいこりやあ！」午前十時出揃つたサラリーマンをびつくりさせて丸の内一帯がやけに暗くなつた、向ふ三軒兩隣のビルはまるで影繪のやうにかすみ、大内山も乳色に塗り込められていやに赤い太陽とドス黒いアドバリンが魔物の様に肩を並べて無氣味な景色を描き出した、この珍現象も一時間程で解消したが氣象臺の説明によるとこれは凝煙霧で風の弱い晴れた朝は地面附近の空氣は冷却するが上には暖い空氣があり煙は冷い空氣は突き抜けるが暖い空氣には入れず下層に溜つてしまふため本所深川に溜つた煙が今朝の弱い東風に乗つて丸の内方面へ流れこんだものであると云ふ

寫眞は  
太陽も黒い煙幕下の都大路



1911





同 誌 寫 眞 ニ ュ ー ス 番 外

◎ 天才少女提琴家

諏訪根自子嬢渡歐

（東京）十一年一月廿二日夜  
天才の名に輝く希望を包んでベルギーへ旅立  
つ日の諏訪根自子さん―廿二日午後九時東京  
驛で山田耕筰氏を初め多數の見送り人に圍ま  
れ流石に喜びに溢れてゐた

寫眞は

一、出發の根自子嬢と見送りの山田耕筰氏



1917





◎新兵さんも朗らか

一 近歩一二聯隊の軍旗祭一

(東京) 十一年一月廿三日

傳統を誇る第六十三回近衛歩兵第一第二聯隊  
軍旗祭は廿三日午前十時半から擧式、橋本師  
團長、篠塚旅團長以下列席のほか嘗て近歩一  
旅團長であつた關係から川島陸相も特に出席  
懐し氣に軍旗を奉拜した、聯隊長訓辭のち  
勇壯な分列行進や聯隊合唱に移つて式を閉ぢ  
午後は十二月入營の新人連も交へて兵隊さん  
達が表藝隠し藝總ざらひの餘興競演、明朗な  
軍隊色の日を過した。寫眞は

一 歩一の分列式







同盟 寫眞ニュース 第一一二號

◎地方長官會議

選舉對策要綱指示

(東京) 十一年一月廿四日

政府は總選舉に當り十大政綱の一たる肅選の實を擧ぐべく廿四日午前十時より首相官邸に同十一時より内相官邸に地方長官會議を開き夫々訓示、指示事項につき協議した

寫眞は

- 一、岡田首相の訓示 (於首相官邸)
- 一、後藤内相の訓示 (於内務省)







◎有栖川宮五十年祭

(東京) 十一年一月廿四日

仁孝、孝明、明治の三朝に仕へ王政復古に當つて神祇事務總督、神道教導職總裁の命を拜し皇典講究所の總裁となつて國民道德の振興に御靈瘞あらせられた一品幟仁親王殿下の五十年祭は廿四日高松宮並に豊島岡御墓所に於いて嚴かに御執行あらせられたが麻布の有栖川恩賜公園では市主催の下に記念碑に故殿下の御寫眞を奉掲、一般市民の奉拜式を行つた

寫眞は

一、市民奉拜式(遠征博覧會)の寫眞